

メカノケミストリー (めかのけみすとリー) | Mechano-chemistry

粉碎、摩砕などの機械的エネルギーの付与によって、媒質液中に結晶を分散させる際、分散後の結晶が結晶形を変化させたり、無定形に変わったりすることがある。この現象をメカノケミストリーといい、いろいろな研究がおこなわれている。例えば、炭酸カルシウムの場合、カルサイトからアラゴナイトに変化し、二酸化チタンではルチルからアナターゼに変化する。酸化チタンの場合、食塩を添加して粉碎するとその変化が早く起こると言われている。

(古澤)